

泉ピン子様

内館牧子

初日を拝見しました。  
すっご〜く面白くて、自分の小説なのにアチコチで笑ってしまいました。

村田さんはさすがの力量でピン子さんと絶妙のバランスでした。  
面白いことにお二人がどの役をやってもピシヤリとハマって、前の役とゴッチャにならないんです。これは本当に不思議。俳優二人の力量と演出の力量だと講談社の小林さん（小説の編集担当）と話しました。

私は途中からついスタッフの気分になり、周囲のお客様の反応を見ていましたが、思いがけずによく笑い、ラストでは泣いている人がいました。橋田先生はご自分のドラマで泣かれるんですが、私は泣いている人を見ながら「よしよし！もっと泣け」と。不肖の弟子です。

小林さんとも一致したのですが、画面も実によく生きていました。銀座、東京タワーの夜景、それに「愛（かな）しい」の文字等々、過不足なく情報が伝えられ、みごとな演出だったと思います。

スタッフの気分で周囲を見ていますと、お客様たちは笑いたくて泣きたくて来場しているんですね。

初日でこれほどその部分を満たしてくれましたので、今後はさらに楽しみです。

宮川さんの音楽がいい具合にすべりこんでくるんですねえ、これが。

帰りにロビーでお客様に「よかったです」とか「友達にも言います」とか言われ、ついでスタッフの気分になって、「雨の中わざわざお運び下さいまして」などとお礼を言ってしまいました。

ピン子さん、村田さん、笹部さん、そして宮川さん！！  
大成功の初日です。ありがとうございました。

2022.8.4